

第2回資源評価結果説明会

【議事要旨】

○日 時：令和5年1月11日（水）13:00～17:00

○場 所：ACU SAPPORO 大研修室（アスティ 45 16F）

○魚種系群：マダラ北海道日本海、マダラ北海道太平洋

○概 要：

マダラ北海道日本海及びマダラ北海道太平洋の資源評価結果について、当該水産資源の関係者を主な対象として、公開で、対面とウェブ併用形式の説明会を開催した。

本説明会では、国立研究開発法人水産研究・教育機構から水産資源ごとの資源評価結果の説明が行われ、これに対して参加者から質問・意見等があり、活発な議論が行われた。

主な意見等は以下のとおり。（別途記載がない限り、両資源に共通のもの）

- ① 沖底かけまわしCPUEに基づき資源評価されているが、漁獲成績報告書データの適切な活用方法の検討に加え、沿岸漁業の情報も取り込んだ評価を今後検討して欲しい。
- ② 西サハリン周辺（北海道日本海）や北方四島周辺（北海道太平洋）にも跨って分布している可能性が考えられており、そのような資源に対して、どのような資源評価・管理をしていくべきか、経済的に重要な資源であることも加味して慎重に検討して欲しい。
- ③ 餌の量や生息域を同じくする他の回復途上の魚類資源（スケトウダラやホッケ等）との関係性を踏まえた資源評価・管理について、将来的に検討して欲しい。
- ④ 資源が増加している状況にある中で、2系ルールに基づくとABCが直近の漁獲量を下回る可能性があり、適正と思われる範囲で漁獲量の算定方法を検討して欲しい。
- ⑤ 遊漁による資源への影響が考えられるため、遊漁による影響を取り込んだ資源評価・管理について可能な範囲で検討して欲しい。

以上について、今後の課題として検討されることとなった。

以上